



愛知県立佐屋高等学校

科学部

愛知県愛西市東條町高田39番地

「自然循環を考えたスクミリンゴガイの防除」



Action

佐屋高校がある愛知県海部地域は豊かな水田地帯です。本校でも生物生産科作物専攻の生徒たちが米作りを学び、有機農法による稲作も実践しています。科学部では地域の代表的な環境である水田生態系を守るため、水辺に生息する生き物を中心に調査研究を行っています。近年、私たちの学校水田をはじめ、この地域の多くの水田でスクミリンゴガイ（通称ジャンボタニシ）が出現するようになりました。スクミリンゴガイは田植え直後のイネを食害します。スクミリンゴガイの被害を増やさないためにも、科学部では令和元年よりスクミリンゴガイの生態や駆除について研究を始めました。廃棄農産物を利用して、採捕のための誘引剤としての利用効果や水田内の生活史を解明するための行動調査を行ったほか、生物を利用した駆除法及び殻の有効利用なども研究してきました。そして、水田生態系を永く未来に残すため、環境学習教材を開発し、子供たちに水田に生きる生き物を紹介しています。